(1)地質・単純調査・測量業務 別紙1(主任技術評価員1/8) 業務評定 а a' h h' С 考查項目 細別 選択区分 評価区分 管理技術者 5 担当技術者 2.5 Ω -2.5-5 ●評価対象項目 (選択) (評定) □ 実施体制及 実施体制及 び執行計画 び執行計画 1. 業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されている。 П について. について. 監督員の文 監督員が文 2. 特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されている。 П 書で改善指 書による改 善指示に従 示を行っ わなかっ 3. 管理技術者は、契約図書等に基づき、業務の技術上の管理を適切に行っている。 た。 П た。 4. 担当技術者は、設計図書等に基づき、適正に業務を実施している。 5. 担当技術者は、優れた技術力や創意工夫をもって、業務の成果に貢献している。 П 6. 業務の実施方針における実施方法は、本業務の目的を十分理解し、成果を得るための的確な手順、手法である。 7. 業務の実施体制は、業務内容に応じた適切な人員配置であり、業務の停滞や手戻りを生じさせず完了させた。 実施体制 実施能力 と執行計 8. 業務実施段階で判明した重要な事実等を速やかに変更業務計画書に反映し提出されている。 の評価 П П 画(1/1) П □ 9. その他()(対象:管理、担当技術者) ◎評定は1~9のうち 評価値が90%以上・・・・・・a ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合に 評価値が70%以上90%未満・・・b 評価値が70%未満・・・・・・c チェックし、評価対象の項目とする。その他は、必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (%)=該当項目数()/評価対象項目数(

 (1)地質·単純調査·測量業務

 財紙1(主任技術評価員2/8)

 業務評定
 a
 a'
 b
 b'
 c
 d
 e

考査項目	細別	選択区分	証価区分	業務評定 管理技術者	а	a'	b	b'	С	d	е
万 且坝口	小山刀リ			担当技術者	5	ı	2.5	_	0	-2.5	-5
実施状況の評価	執行管理 (1/2)	●評価対象	(評定)	1. 業務工程表 2. 契約締結後 3. テクリスへの 4. 監督員の指 5. 監督員の指 6. 打打合せに記録 7. 打合せせ記録 9. 支給該調計画 10. 作業計画	は、契約締結後速や記速やかに業務に着手の登録申請を監督員の絡を密にとり、円滑ないて、業務の課題とないて、発注者が判断で決ける。	の確認を受けた上で速業務の実施に努めている。 この解決策の提案が優できる適切な資料の提潔に整理されており、 状況を記録した調書を数量がある場合は返った。	はやかに行っている。 いる。 をれている。 と示・提出がなされてい かつ、速やかに提出さ がっ、速やかに提出さ がっている。	sれている。		□ 執行で、 執いの 対の がでで、 なった。	□ 執行での改従に指ない。 は、文善とは、文書を表して、文書を、文書を、文書を、文書を、文書を、文書を、文書を、文書を、文書を、文書を

(1)地質・単純調査・測量業務 別紙1(主任技術評価員3/8) 業務評定 h' а a' h С 考査項目 細別 選択区分 評価区分 管理技術者 5 担当技術者 2.5 Ω -2.5-5 ●評価対象項目 (選択) (評定) 12. 業務計画書に安全管理に係る項目があり、適切な内容の記述がある。 П 13. 貸与された図書及び関係資料は、必要が無くなった場合にただちに返却されている。 П П 14. 第三者の土地等への立ち入りにあたって、トラブルの発生がないように適切な対応を行っている。 П 15. 第三者の土地への立ち入りにあたって交付を受けた身分証明書は、立入完了後10日以内に返却されている。 П 16. 屋外作業において、第三者の安全確保に努めている。 17. 屋外作業において、事故が発生しないよう作業員等に安全教育の徹底を図り、指導・監督に努めている。 П 18. 設計図書に基づき、適切な時期に履行状況報告が提出されている。 実施状況 執行管理 19. 休日、夜間に屋外作業を行う場合は、事前に理由を付した書面を監督員に提出している。 の評価 П П (2/2)П □ 20. その他()(対象:管理、担当技術者) ◎評定は1~20のうち 評価値が90%以上・・・・・・a ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合に 評価値が70%以上90%未満・・・b 評価値が70%未満・・・・・・c チェックし、評価対象の項目とする。その他は、必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

③ 評価値 (

%)=該当項目数(

)/評価対象項目数(

(1) 地質・単純調査・測量業務 別紙1(主任技術評価員4/8) 業務評定 h' а a' b С 管理技術者 担当技術者 10 5 0 -5 -10選択区分 評価区分 考查項日 細別 b a' а С 照查技術者 n 28 14 -14-28 ●評価対象項目 □ 品質管理に (選択) (評定) □ 品質管理に ついて、監 ついて、監 1. 業務の実施にあたり、設計図書に定める技術基準等について、十分に理解した上で適用している。 督員の文書 督員が文書 で改善指示 による改善 2. 業務の実施にあたり、最新の技術基準及び参考図書並びに特記仕様書に基づき実施している。 指示に従わ を行った。 使用にあたって、事前に監督員の確認を得ている。 なかった。 3. 技術基準等がない項目の取扱いが具体的に記述されている。 4. 調査又は測量精度向上のための社内基準等を設けている。 П 5. 業務の実施にあたり、調査地点の確認を行い、業務実施に必要な現地の状況を把握している。 調査地点の確認に際しては、調査対象項目を整理し、監督員の承諾を得ている。 П 6. 資料の提出時に、転記・計算ミスがなく内容のチェックを行っている。 実施状況 品質管理 7. 過年度からの打合せ経緯や成果を踏まえた成果となっている。 П の評価 (1/2)8. 照査計画において、発注者から指摘がなかった。 П П 9. 管理技術者が業務実施に必要な情報を収集して把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるか について照査が行われている。 □ 10. 実施方針や方法が適切であるかの照査が適正に行わている。

(1)地質・	単純調査・	測量業務								別紙1(主任技術	<u> </u>
				業務評定 管理技術者	а	a'	b	b'	С	d	е
考査項目	細別	强也区公	評価区分	担当技術者	10	-	5	-	0	-5	-10
行且 切口	小川ノリ	送扒色刀	計画区刀	照査技術者	а	a'	b	b'	С	d	е
				派且汉时日	28	-	14	-	0	-14	-28
		●評価対策 (選択) □	(評定)	11. 調査又は	測量の正確性、適切り	生に着眼し照査が適正	に行われている。				
				12. 照査技術	者は、業務の各照査	没階において自身での	照査を行い、発注者が	が行う照査確認で指	商がなかった 。		
				13. 履行段階	において、状況に応じ	た適切な対応を行った	こ。もしくは提案がされ	ている。			
					の実施に際し、貸与資 承諾を得て実施してい	資料や設計図書に示す い る。	事項と照合して、資料	収集対象項目を整理	里し、		
				15. その他()(対象:	管理、担当技術者)		
実施状況 の評価	品質管理 (2/2)			ち 90%以上・・・・・ 70%以上90%オ		①「評価対象項	目」のうち、(選択)のチェッ	ク欄があるものは、選択	項目として該当する場合に		
				70%未満・・・・・		チェックし、評	価対象の項目とする。その)他は、必須項目とする。			
						② 必須項目と選	【択項目で選択した項目を付ける。	母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。		
						③ 評価値(%)=該当1	頁目数()/評価対象項目数()

(1)地質・単純調査・測量業務 別紙1(主任技術評価員6/8) 業務評定 h' а a' b С 考査項目 細別 選択区分 評価区分 管理技術者 4 担当技術者 3 2 1 0 ●評価対象項目 (選択) (評定) 1. 当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは調査・解析等の手法・技術に関する提案がなされている。 П П 2. 検討課題と共に今後実施すべき検討項目・方針等が提案されている。 П 3. 品質管理のための照査体制を構築させ、有効的に機能している。 П 4. 地元関係者への説明、交渉等の資料等に工夫がみられ、分かりやすく、説明しやすい。 □ 5. 創意工夫、提案力等にかかる特筆すべき事項がある。 具体的記述(実施状況 創意工夫 の評価 (1/1) ●評価点 ※業務評定、管理技術者、担当技術者の評価に反映。 ●判定基準 上記の項目の■の数により、1~4点の加算評価とする。 ※ただし、特段の評価ができる場合は、■の数にとらわれず、評価する内容を総合的に判断して評価する。 (例えば、■が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は4点(a)の加算評価も可)

(1)地質・単純調査・測量業務 別紙1(主任技術評価員7/8) 業務評定 h' а a' h С 考查項目 細別 選択区分 評価区分 管理技術者 6 担当技術者 3 Ω -3 -6 ●評価対象項目 (選択) (評定) □ 説明調整に 説明調整に ついて、監 について、 1. 業務の作業効率、精度を向上させる提案が自主的に行われた。 П 監督員の文 督員が文書 で改善指示 書による改 2. 業務の遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告された。 П П 善指示に従 を行った。 わなかっ 3. 疑義に対する質問や提案等が適切に行われた。 t- . П 4. 説明内容が事前に十分整理されており、打合せも円滑に行われた。 5. 打合せ及び資料の説明において、論理的で容易に理解できる説明が行われた。 6. 調査又は測量業務等を実施するための関係官公庁等への手続きを速やかに行っている。 П 7. 発注者が行う関係官公庁等への手続きに際して、分かりやすく、説明しやすい資料等の作成が行われている。 8. 関係官公庁等及び地元関係者との手続きや交渉状況が遅延なく報告されている。 П П 説明調整┃説明調整 能力の 能力 9. 発注者の指示による受注者が行うべき地元関係者への説明、交渉等において、誠意をもって適切な対応が П 評価 (1/1)図られている。 10. 車両の運転・駐車にあたって地元住民に配慮し、苦情等がなかった。 П □ 11. その他()(対象:管理、担当技術者) ◎評定は1~11のうち 評価値が90%以上・・・・・・a (1)「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合に 評価値が70%以上90%未満・・・b 評価値が70%未満・・・・・・c チェックし、評価対象の項目とする。その他は、必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (%)=該当項目数()/評価対象項目数(

(1)地質・	単純調査・	測量業務								別紙1(主任技術	<u> </u>
				業務評定 管理技術者	а	a'	b	b'	С	d	е
考査項目	細別	選択区分	製価区分	担当技術者	10	-	5	-	0	-5	-10
行且 切口	小山刀リ	送扒色刀	計画区刀	照査技術者	а	a'	b	b'	С	d	е
				加工以间石	12	-	6	ı	0	-6	-12
		●評価対象 (選択)	(評定) □			遂行段階での指示事項 真や図面により的確に		られている。		□ 成果品について、監督 員が文書で改善指示を 行った。	□ 成果品につ
				3. 写真管理か	適切に行われ、状況	が容易に把握できる。					N 2720
				4. 調査結果の	とりまとめにおいて、	ミスがなかった。					
				5. 調査結果か	わかりやすく整理され	ι、工夫が見られる。					
				6. 多岐にわた	る検討項目など、難り	易度の高い作業(業務))に対し、必要な作業(業務)成果が得られた	Ξ.		
				7. 業務報告書	は、業務全般の内容	とそのポイントが的確し	に解説されとりまとめ	られている。			
結果の評価	成果品の 品質 (1/1)			8. その他()			
			評価値が	00%以上・・・・ 70%以上90%ま 70%未満・・・・・	≒満•••b	チェックし、評	目」のうち、(選択)のチェッ 呼価対象の項目とする。その 選択項目で選択した項目を %)=該当	D他は、必須項目とする。 母数として計算した比率(・	頁目として該当する場合に %)計算の値で評価する。)/評価対象項目数()

(1)地質・単純調査・測量業務 別紙2(総括技術評価員1/3) h' а a' b С 業務評定 考査項目 細別 選択区分 評価区分 管理技術者 10 7.5 5 2.5 0 -5 -10●評価対象項目 (選択) (評定) 1. 管理技術者は、優れた技術力をもって、業務の技術上の管理を適切に行っている。 П П П 2. 管理技術者は、関連のある業務等の受注者と積極かつ主導的に協議を行い相互に協力し業務を行っている。 П 3. 作業計画書における実施方針は、優れた手法、技術若しくは創意工夫によるものである。 П 4. 業務の効率化に関する具体的な提案がされている。 5. 業務の実施体制において、支店・本店などの支援体制が整備されている。 6. その他(実施体制 実施能力 と執行計 の評価 ●評価点 画(1/1) ※業務評定、管理技術者の評価に反映。 ●判定基準 上記該当項目を総合的に判断して、10点(a)、7.5点(a)、5点(b)、2.5点(b)、0点(c)、-5点(d)、-10点(e)で評価する。 ※総括技術評価員は、主任技術評価員の意見を参考に発注業務全体を視野に入れた総括的な評価を行う。 (業務履行過程での日々の対応の評価は主任技術評価員が実施) ※評価にあたっては、評価対象項目の■の数だけにとらわれず、評価する内容を総合的に判断し評価する。 (例えば、■が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は10点(a)評価も可) ※業務執行上の過失として主任技術評価員細別評価項目において-5点(d)または-10点(e)評価があった場合、

※測量作業及び地質調査においては、管理技術者を管理技術者及び現場作業責任者と読み替えるものとする。

-5点(d)評価以下とし「その他」に理由を記入すること。

(1)地質· <u>i</u>	単純調査・	測量業務								別紙2(総括技術	<u> </u>
				業務評定	а	a'	b	b'	С	d	е
考査項目	細別	海中区分	評価区分	管理技術者	20	15	10	7.5	0	-	
与且 块日	和山力リ	进扒区刀	計画区刀	担当技術者	а	a'	b	b'	С	d	е
				担当这侧名	25	19	12.5	7	0	-	-
		●評価対象 (選択) □	(評定)	1. 現場条件や	∍環境条件などの制約	条件が多く、その対応	が評価できる。				
				2. 都市部等 <i>σ</i>)作業環境、社会条件	等への対応が評価で	きる。				
				3. 厳しい自然	条件、地盤条件等への	の対応が評価できる。					
				4. 業務の特別	k性への対応が評価で	きる。					
				5. 関連する事	業、工事に配慮する。	必要があり、その対応	が評価できる。				
				6. 地元関係者	からない かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱ	資料等に工夫がみられ	れ、評価できる。				
÷++.15.50	게 2 2 나누 나나			7. その他()			
実施状況 の評価 -	業務特性 (1/1)	●評価点	ı								
			※業務評別	定、管理技術者	の評価に反映。		※担当技行	術者の評価に反映。			
			上記対応 業務評定、	管理技術者は	:20点(a)、15点(a')、	定、管理技術者は7. 5 10点(b)、7. 5点(b)、(、7点(b')、0点(c)で評	O点(c)で評価する。	よ7点(b')評価以上とす	-్శం.		

(1)地質・単純調査・測量業務 別紙2(総括技術評価員3/3) h' а a' b С 業務評定 管理技術者 10 7.5 5 2.5 0 選択区分評価区分 考查項目 細別 a' b h' а С 担当技術者 15 n 12 7.5 4 ●評価対象項目 (選択) (評定) П П 1. 業務遂行にあたって、有用な提案が行われるなど取組への積極性・責任感に対して評価できるものがあった。 2. 業務遂行段階において不明な点が生じた場合など、問合わせや確認が迅速になされ、確認された事項を記録し関係者に共有を図るなど П 評価できものがあった。 3. 業務遂行中、新たに発生した課題に対して、社内全体として体制の拡充を図るなど、業務を完成させるにあたり評価できるものがあった。 4. 地域への貢献等に関して、評価できるものがあった。 П □ 5. その他(青仟感• 積極性• 取組姿勢 倫理観 ●評価点 (1/1)※業務評定、管理技術者の評価に反映。 ※担当技術者の評価に反映。 ●判定基準 上記該当項目を総合的に判断して、業務評定、管理技術者は10点(a)、7.5点(a')、5点(b)、2.5点(b')、0点(c)で評価する。 担当技術者は15点(a)、12点(a')、7.5点(b)、4点(b')、0点(c)で評価する。 ※総括技術評価員は、主任技術評価員の意見を参考に発注業務全体を視野に入れた総括的な評価を行う。 (業務履行過程での日々の対応の評価は主任技術評価員が実施) ※評価にあたっては、評価対象項目の■の数だけにとらわれず、評価する内容を総合的に判断し評価する。 (例えば、■が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は業務評定、管理技術者は10点(a)、担当技術者は15点(a)評価も可)

和민	海扣区分	1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	業務評定	а	a'	b	b'	С	d	е
МШ (7)			管理技術者	10	-	5	_	0	-5	-10
実施体制 と執行計 画(1/1)	選択)	(評定)	 円滑な業 1日 (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	遂行に努めている。 は、設計図書に定め における実施方針は における実施方針はがわかりやすく記載さ の記載内容と調査又 した場合、書面により、かつ、委託先の成界	られた必要な事項を記 、特記仕様書等の設言 、本業務の目的や内容 れている。 は測量方法が一致し、 は別量方法が一致し、 協力者との契約関係。 とこ対する照査を行 を作業計画書等に記載	記載し業務内容に適しま 十図書の項目を満足し 字に基づき、図表等に 現地環境を乱さず調 が明確であり、協力者 っていることが書面で 載している。	た作業計画書が提出され、 指摘や修正がない。 よる工夫が見られ、 査していることが確認に対して適切な指導、		□ 実施体制 実施体制 についる という という という という という という という という という という	び執行計画 について、 監督員の文
	◎評定は	評価値が9 評価値が7	00%以上····· 0%以上90%オ	∈満···b	チェックし、評	価対象の項目とする。その 銀択項目で選択した項目を	D他は、必須項目とする。 母数として計算した比率(9)
	と執行計	●評価対() □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	●評価対象項目 (選択) (評定) □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	本部	一	選択区分 評価区分 管理技術者 10	無利別 選択区分 評価区分 管理技術者 10 - 5 ●評価対象項目 (選択) (評定)	無利の 選択区分 評価区分 管理技術者 10 - 5 - 1	### ### ### ### ### #################	●評価対象項目 (選択) (評定) □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

(1)地質・	単純調査・	測量業務								別紙3	3(検査員2/4)
				業務評定	а	a'	b	b'	С	d	е
				管理技術者	10	-	5	-	0	-5	-10
考査項目	細別	湿 中 区 公	郭佈区公	担当技術者	а	a'	b	b'	С	d	е
为且供口	נינ/ שייי	医水色刀	計画区力	追当这侧省	20	-	10	-	0	-10	-20
				照査技術者	а	a'	b	b'	С	d	е
				加工以间省	12	_	6	_	0	-6	-12
		●評価対 (選択)	(評定)		· 中南土 八元四和	光なに Cob について				□ 品質管理に ついて監督	□ 品質管理に ついて、監
		_				、業務に反映している。				員が文書で 改善指示を	督員の文書
				2. 照査技術者	は、照査計画を作成	し、照査に関する事項	を定め作業計画書に訂	己載している。		行った。	指示に従わ なかった。
				3. 照査技術者	がは、業務期間をとおし	して適切に照査を実施	しており、発注者が行う	5照査確認で指摘がた	なかった。		
					fは、業務完了に伴っ [・] fに提出している。	て照査結果を照査報告	言書としてとりまとめ、照	質査技術者の署名又(は捺印の上、		
				5. 品質確保 <i>0</i> .	ための社内検査体制	川が確立され、その体制	削で検査を行ったことが	「確認できる。			
				6.「作業計画	書」において成果品の	品質を確保する記述が	があり、かつ、当該業務	務の品質の管理につ な	ながっている。		
実施状況				7. 品質管理の	ためのシステムが構	築されており、かつ、尽	 【果への反映について	確認できる。			
の評価	(1/1)			8. 業務遂行に	こあたり、チェックシート	、等を作成し、作業中 <i>の</i>	Dミス防止の実施に努め	めている。			
				9. その他()(対象:管理、	担当、照査技術者)		
		◎評定は	1~9のうち	,							<u> </u>
			評価値が	90%以上···· 70%以上90%オ		①「評価対象項	[目」のうち、(選択)のチェッ	ク欄があるものは、選択な	頁目として該当する場合に		
				70%未満・・・・・		チェックし、評	価対象の項目とする。その	他は、必須項目とする。			
						② 必須項目と選	選択項目で選択した項目を超ります。	母数として計算した比率(9	%)計算の値で評価する。		
						③ 評価値(%)=該当功	頁目数()/評価対象項目数()
	I										

(1)地質・単純調査・測量業務 別紙3(検査員3/4) 業務評定 h' а a' h С 管理技術者 担当技術者 20 10 0 -10-20選択区分 評価区分 考查項目 細別 a' b b' а С 照查技術者 n 28 14 -14-28 ●評価対象項目 □ 成果品につ (選択) (評定) □ 成果品につ いて、監督 いて、監督 1. 設計図書に定めらえた項目及び指示事項が漏れなく整理されている。 員が文書で 員の文書に 改善指示を よる改善指 2. 活用した技術基準や文献等の出典先が、それぞれの成果に記載され、わかりやすく整理されている。 П 示に従わな 行った。 かった。 3. 設計業務への引き継ぎ事項、技術的ポイントが整理されている。 4. 現地踏査の結果より判明した調査又は測量上の対応が、必要な事項についての対策が記載されている。 П 5. 作業(業務)遂行段階での指示事項が漏れなく整理されている。 6. 必要書類等が整備されていた。 7. 誤字・脱漏、記載ミスなどがない。 8. 理解しづらい文章表現などがなく、わかりやすい成果となっている。 成果品の 結果の 品質 9. 個々の説明において図や表を活用するなどわかりやすい成果となっている。 П 評価 (1/2)П 10. 全体的な構成や説明の流れが業務の目的と成果への導きとして適切にとりまとめられている。 11. 成果品に引用されている図表、写真等は著作権に配慮されたものとなっている。 12. 成果品のチェック方法に工夫が見られる。 13. 成果品は、独自に設定した社内基準を満足し、調査精度の向上に繋がったものである。 П П П П 14. その他(

(1)地質・	単純調査・	測量業務	_							別紙3	(検査員4/4
				業務評定 管理技術者	а	a'	b	b'	С	d	е
考査項目	細別	選択区分	======================================	担当技術者	20	-	10	-	0	-10	-20
万 宜坝日	和力リ	医扒色刀	計觚区方	照査技術者	а	a'	b	b'	С	d	е
				照直投削有	28	-	14	_	0	-14	-28
結果の評価	成果品の 品質 (2/2)		評価値が9 評価値が7	ち 90%以上・・・・ 70%以上90% 70%未満・・・・・	⊧満····b	チェックし、評	価対象の項目とする。その	の他は、必須項目とする。 母数として計算した比率	R項目として該当する場合に (%)計算の値で評価する。)/評価対象項目数(

業務成績採点表

(技術者評定)(注3)

地質調查, 単純調查業務, 測量業務

	心只啊」	宜、早純調宜耒初	7 . /	빗	<u> </u>	177																							
2	查項目	細別		主	任技	術評値	西員(i)			総	括技術		5 員(ii)				検査	全員 (iii)					細目評	定点(注3)	
	A A A	194 255	а	a'	b	b'	С	d	е	а	a'	b	b'	c	d	е	а	a'	b	b'	С	d	е	評価,	点(iv)	基礎点	評定点	/ 配点	(評定率)
	実施能力の 評価	実施体制と執行計画																								12.0	/	20.0	
		執行管理								-																3.0	/	5.0	
	実施状況の	品質管理								-																12.0	/	20.0	
プロセ ス評価	評価	業務特性										ļ												iv = i *0.4 +		6.0	/	10.0	
		創意工夫																						ii *0.2 + iii *0.4		2.4	/	4.0	
	説明調整能 力の評価	説明調整能力								-																3.6	/	6.0	
	取組姿勢	責任感·積極性·倫理観																								3.0	/	5.0	
結	果の評価	成果品の品質								-																18.0	/	30.0	
評定者	別評価点①																												
評定者	別基礎点②																												
評定者	別評定点(③=	=(1)+(2)							4							⑤							6						
(注4)		$4 \times 0.4 + (5 \times 0.2 + (6 \times 0.4))$																									/	100	
⑧事故	等による減点(業務遂行段階を対象とする)																											
⑨契約	不適合又は損	害賠償が実施された場合の源	成点(追	追完の	規模	が軽微	である	る場合	合を除く	()																			
⑩その	他																												
総合評	定点の算定		総合	評定。	<u>h</u> (1)=	7+8)+(9)+(10																					
		所見	(主	任技	技術 言	评価」	員)			(総	括技	(術語	平価。])			(検	查 員	()										

管理	!技術者(注	1)	担当	当技術者(注	2)	Ħ	聚查技術者	
基礎点	評定点 /	配点	基礎点	評定点 /	配点	基礎点	評定点 /	配点
12.0	/	20.0	3.0	/	5.0			
3.0	/	5.0	3.0	/	5.0			
12.0	/	20.0	18.0	/	30.0	30.0	/	50.0
6.0	/	10.0	7.5	/	12.5			
2.4	/	4.0	2.4	/	4.0			
3.6	/	6.0	3.6	/	6.0			
3.0	/	5.0	4.5	/	7.5			
18.0	/	30.0	18.0	/	30.0	30.0	/	50.0
	/	100		/	100		/	100
l								

注)1. 測量作業及び地質調査は、管理技術者及び現場作業責任者が該当する。 2. 担当技術者は8人までとし、総合的に評価する。 3. 各評価項目の評定点は、少数第二位を四捨五入して表示している。 4. 「⑦」「⑪」は、少数第一位を四捨五入し整数とする。

(2)設計業務「調査・計画業務」 別紙1(主任技術評価員1/8) 業務評定 h' а a' h С 考查項目 細別 選択区分 評価区分 管理技術者 5 担当技術者 2.5 Ω -2.5-5 ●評価対象項目 (選択) (評定) □ 実施体制及 П 実施体制及 び執行計画 び執行計画 1. 業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されている。 П について. について. 監督員が文 監督員の文 2. 特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されている。 П 書で改善指 書による改 善指示に従 示を行っ わなかっ 3. 管理技術者は、契約図書等に基づき、業務の技術上の管理を適切に行っている。 た。 П た。 4. 担当技術者は、設計図書等に基づき、適正に業務を実施している。 5. 担当技術者は、優れた技術力や創意工夫をもって、業務の成果に貢献している。 6. 業務の実施方針における実施方法は、本業務の目的を十分理解し、成果を得るための的確な手順、手法であり、 他の手本となすべき優れたものである。 実施体制 7. 業務の実施体制は、業務内容に応じた適切な人員配置であり、業務の停滞や手戻りを生じさせず完了させた。 実施能力 と執行計 の評価 8. 業務実施段階で判明した重要な事実等を速やかに変更業務計画書に反映し提出されている。 画(1/1) П П □ 9. その他()(対象:管理、担当技術者) ◎評定は1~9のうち 評価値が90%以上・・・・・・a ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合に 評価値が70%以上90%未満・・・b 評価値が70%未満・・・・・・c チェックし、評価対象の項目とする。その他は、必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (%)=該当項目数()/評価対象項目数(

(2)設計業務「調査・計画業務」 別紙1(主任技術評価員2/8)

考査項目	細別	海中区公	評価区分	業務評定 管理技術者	а	a'	b	b'	С	d	е
为且坝口	小山刀リ			担当技術者	5	_	2.5	_	0	-2.5	-5
実施状況の評価	執行管理 (1/2)	●評価対象のでは、「は、「は、」のでは、「は、」のでは、「は、」のでは、「は、」のでは、「は、」のでは、「は、」のでは、「は、」のでは、「は、」のでは、「は、」のでは、「は、」のでは、「は、」のでは、「は、、」のでは、「は、、」のでは、「は、、」のでは、「は、、」のでは、「は、、」のでは、「は、、」のでは、「は、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	(評定)	 契約締結後 テクリスへの 監督員と連 打合せにお 打合せにお 打合せ記録 作業務の進 	速やかに業務に着手の登録申請を監督員の 絡を密にとり、円滑な (示事項に迅速に対応 いて、業務の課題とも いて、発注者が判断 は、必要事項が簡 の業務工程(表)は、 渉を図るための工夫を	の確認を受けた上で速業務の実施に努めている。 その解決策の提案が優できる適切な資料の提潔に整理されており、	やかに行っている。 いる。 それている。 そ示・提出がなされてい かつ、速やかに提出さ いのででいる。			□ 執行で、 執行で、 対にて、文文 が指す。 を行った。	□ 執行で理に 対行でで、文章に 対し、文章に はまった。 はまった。

(2)設計業務「調査・計画業務」 別紙1(主任技術評価員3/8) 業務評定 h' а a' h С 考查項目 細別 選択区分 評価区分 管理技術者 5 担当技術者 2.5 Ω -2.5-5 ●評価対象項目 (選択) (評定) 12. 貸与された図書及び関係資料は、必要が無くなった場合にただちに返却されている。 П 13. 第三者の土地等への立ち入りにあたって、トラブルの発生がないように適切な対応を行っている。 П П 14. 第三者の土地への立ち入りにあたって交付を受けた身分証明書は、立入完了後に返却されている。 П 15. 屋外作業において、第三者の安全確保に努めている。 16. 屋外作業において、事故が発生しないよう作業員等に安全教育の徹底を図り、指導・監督に努めている。 17. 設計図書に基づき、適切な時期に履行状況報告が提出されている。 18. 休日、夜間に屋外作業を行う場合は、事前に理由を付した書面を監督員に提出している。 実施状況 執行管理 □ 19. その他()(対象:管理、担当技術者) の評価 П (2/2)◎評定は1~19のうち 評価値が90%以上・・・・・・a ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合に 評価値が70%以上90%未満・・・b 評価値が70%未満・・・・・・c チェックし、評価対象の項目とする。その他は、必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

③ 評価値 (

%)=該当項目数(

)/評価対象項目数(

(2)設計業務「調查・計画業務」 別紙1(主任技術評価員4/8) 業務評定 а a' h h' С 管理技術者 担当技術者 10 7.5 5 2.5 0 -5 -10選択区分 評価区分 考查項日 細別 a' b h' а С 照査技術者 n 28 21 14 7 -14-28 ●評価対象項目 (選択) □ 品質管理に □ 品質管理に (評定) ついて、監 ついて、 監 П П 1. 照査計画において、発注者から指摘がなかった。 督員が文書 督員の文書 で改善指示 による改善 П 2. 照査技術者は、業務の各照査段階において自身での照査を行い、発注者が行う照査確認で指摘がなかった。 指示に従わ を行った。 なかった。 3. 現地の状況に対応した調査方法等を複数提案し、総合的な判断に基づき決定されている。 4. 資料の提出時に、転記・計算ミスが無く内容のチェックを行っている。 П 5. 業務の実施にあたり、最新の技術基準及び参考図書並びに特記仕様書に基づき実施している。 П 使用にあたっては、事前に監督員の承諾を得ている。 6. 業務の実施に当たり、設計図書に定める技術基準等について、十分に理解した上で適用している。 7. 計算、集計整理、データ作成、図面等の内容が、適切であるかの照査が適正に行われている。 П П 実施状況 品質管理 の評価 (1/2)8. 業務の実施に当たり、現地踏査を行い業務実施に必要な現地の状況を把握している。 П П 9. 現地踏査の実施に際し、貸与資料や設計図書に示す設計事項を照合して、調査対象項目を整理し、 監督員の承諾を得て実施している。 10. 資料収集の実施に際し、貸与資料や設計図書に示す設計事項と照合して、資料収集対象項目を整理し、 監督員の承諾を得て実施している。 11. 履行段階において、状況に応じた適切な対応を行い、もしくは提案がされている。 П 12. 過年度からの打合せ経緯や成果を踏まえた成果となっている。 П □ 13. 技術基準等がない項目の取扱いが具体的に記述されている。

(2)設計業務「調查・計画業務」 別紙1(主任技術評価員5/8) 業務評定 h' а a' b С 管理技術者 担当技術者 10 7.5 5 2.5 0 -5 -10選択区分 評価区分 考查項目 細別 a' b h' а С 照査技術者 0 28 21 14 7 -14-28 ●評価対象項目 (選択) (評定) П 14. 当該業務における調査・計画の留意点が、調査・計画方法の内容に考慮され的確に提案されている。 П П 15. 調査成果のとりまとめ、集計整理が、設計図書に定める又は監督員の指示する業務の節目毎に、 適切であるかの照査が適正に行われている。 16. 事業特性、地域特性等が、調査、予測及び照査の手法の選定に考慮されているかの評価が適正に行われている。 17. 評価項目の選定について、適切な評価項目が提案され、適切であるかの照査が適正に行わている。 П 18. 調査結果等の解析が適切であるかの照査が適正に行われている。 П □ 19. その他()(対象:管理、担当、照査技術者) 実施状況 品質管理 の評価 (2/2)◎評定は1~19のうち 評価値が90%以上・・・・・・a (1)「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合に 評価値が80%以上90%未満・・・a' 評価値が70%以上80%未満・・・b チェックし、評価対象の項目とする。その他は、必須項目とする。 評価値が60%以上70%未満・・・b' 評価値が60%未満・・・・・・・c ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (%)=該当項目数()/評価対象項目数(

(2)設計業務「調査・計画業務」 別紙1(主任技術評価員6/8) 業務評定 a' b' а b С 考査項目 選択区分 評価区分 管理技術者 細別 4 3 担当技術者 2 1 0 ●評価対象項目 (選択) (評定) 1. 当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に関する提案がなされている。 2. 検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案されている。 3. 品質管理のための照査体制を構築させ、有効的に機能している。 □ 4. 創育工夫、提案力等にかかる特筆すべき事項がある。 具体記述(●評価点 ※業務評定、管理技術者、担当技術者の評価に反映。 実施状況 創意工夫 の評価 ●判定基準 上記の項目の■の数により、1点から4点の加算評価とする。 ※ただし、特段の評価ができる場合は、評価対象項目の■の数だけにとらわれず、評価する内容を総合的に判断し評価する。 (例えば、■が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は業務評定、管理技術者、担当技術者は4点(a)加算評価も可)

(2)設計業務「調査・計画業務」 別紙1(主任技術評価員7/8) 業務評定 h' а a' b С 考查項目 細別 選択区分 評価区分 管理技術者 6 担当技術者 3 Ω -3 -6 ●評価対象項目 (選択) (評定) □ 説明調整に □ 説明調整に ついて、監 について、 1. 疑義に対する質問や提案等が適切に行われた。 П 督員が文書 監督員の文 で改善指示 書による改 2. 説明内容が事前に十分整理されており、打合せも円滑に行われた。 П 善指示に従 を行った。 わなかっ た。 3. 打ち合わせ及び資料の説明において、論理的で容易に理解できる説明が行われた。 4. 設計業務等を実施するための関係官公庁等への手続きを速やかに行っている。 5. 発注者が行う関係官公庁等への手続きに際して、分かりやすく、説明しやすい資料等の作成が行われている。 П П 6. 関係官公庁等及び地元関係者との手続きや交渉状況が遅延なく報告されている。 7. 発注者の指示による受注者が行うべき地元関係者への説明、交渉等において、誠意をもって適切な対応が 図れている。 説明調整 説明調整 П □ 8. その他()(対象:管理、担当技術者) 能力の 能力 評価 (1/1)◎評定は1~8のうち 評価値が90%以上・・・・・・a (1)「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合に 評価値が70%以上90%未満・・・b 評価値が70%未満・・・・・・c チェックし、評価対象の項目とする。その他は、必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数(

(2)設計業務「調查・計画業務」 別紙1(主任技術評価員8/8) 業務評定 h' а a' h С 管理技術者 担当技術者 10 7.5 5 2.5 Ω -5 -10選択区分 評価区分 考查項日 細別 a' b h' а С 照查技術者 12 9 n 6 3 -6 -12●評価対象項目 □ 成果品につ (選択) (評定) □ 成果品につ いて、監督 いて、監督 1. 設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項が漏れなくとりまとめられている。 П 員が文書で 員の文書に 改善指示を よる改善指 П 2. 調査地点等の確認の結果が、写真や図面により的確に整理されている。 示に従わな 行った。 かった。 3. 成果等のとりまとめにおいて、ミスがなかった。 4. 業務成果は、特記仕様書、各調査業務及び計画業務の共涌仕様書の各章の該当条文に定めた内容で的確に とりまとめられている。 5. 業務報告書の作成にあたり、その検討・解析結果等を特記仕様書に定めらえた調査・計画項目に対応させ、 その検討・解析等の過程と共に、的確にとりまとめられている。 □ 6. 調査、検討、解析に使用した理論、公式の引用、文献などが漏れなく記載されている。 П □ 7. 検討、解析の計算過程がわかりやすく整理されている。 成果品の 8. 作業計画書で、成果品の品質を確保するための計画が記載され、漏れなく成果に反映されている。 結果の П 品質 評価 (1/1)П □ 9. その他(◎評定は1~9のうち 評価値が90%以上・・・・・・。 ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合に 評価値が80%以上90%未満・・・ а' 評価値が70%以上80%未満・・・b チェックし、評価対象の項目とする。その他は、必須項目とする。 評価値が60%以上70%未満・・・b 評価値が60%未満・・・・・・c ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (%)=該当項目数()/評価対象項目数(

(2)設計業務「調査・計画業務」 別紙2(総括技術評価員1/3) h' а a' b С 業務評定 考查項目 細別 選択区分 評価区分 管理技術者 10 7.5 5 2.5 0 -5 -10●評価対象項目 (選択) (評定) 1. 管理技術者は、優れた技術力をもって、業務の技術上の管理を適切に行っている。 2. 管理技術者は、関連のある業務等の受注者と積極かつ主導的に協議を行い相互に協力し業務を行っている。 П 3. 作業計画書における実施方針は、優れた手法、技術若しくは創意工夫によるものである。 4. 業務の効率化に関する具体的な提案がされている。 5. 業務の実施体制において、支店・本店などの支援体制が整備されている。 6. その他(実施体制 実施能力 と執行計 の評価 画(1/1) ●評価点 ※業務評定、管理技術者の評価に反映。 ●判定基準 上記該当項目を総合的に判断して、10点(a)、7.5点(a')、5点(b)、2.5点(b')、0点(c)、-5点(d)、-10点(e)で評価する。 ※総括技術評価員は、主任技術評価員の意見を参考に発注業務全体を視野に入れた総括的な評価を行う。 (業務履行過程での日々の対応の評価は主任技術評価員が実施) ※評価にあたっては、評価対象項目の■の数だけにとらわれず、評価する内容を総合的に判断し評価する。 (例えば、■が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は10点(a)評価も可) ※業務執行上の過失として主任技術評価員細別評価項目において-5点(d)または-10点(e)評価があった場合、 -5点(d)評価以下とし「その他」に理由を記入すること。

2)設計業	務 「調査	•計画業務	J							別紙2(総括技術	5評価員2 /
				業務評定	а	a'	b	b'	С	d	е
查項目	細別	選択区分	シャラン シャップ マンフィング かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしゅう かんしゅう かんしゅう しゅうしゅう しゅう	管理技術者	20	15	10	7.5	0	-	-
直垻日	和力力	医扒 区 刀	計価区力	担当技術者	а	a'	b	b'	С	d	е
				但当权制有	25	19	12.5	7	0	-	-
		●評価対象 (選択)	(評定)	件への対応							
				1. 現場条件や	環境条件などの制約	条件が多く、その対応	びが特に評価できる。				
				2. 設計条件の	設定において、高度	な技術を要し、その対	応が特に評価できる。				
				3. 設計条件の	設定に当たり、地元、	関係機関の意見聴衆	そが必要であり、その対	対応が特に評価できる) _o		
				4. 関連する事	業、工事に配慮する。	必要があり、その対応	が特に評価できる。				
				5. 地元関係者	への説明、交渉等の	資料等に工夫がみら	れ、特に評価できる。				
				6. その他()		
施状況	業務特性		Ⅱ高度な打	支術力への対応							
の評価	(1/1)			1. 設計成果の	導きにおいて、多岐に	こわたる比較検討が必	必要であり、その対応か	が特に評価できる。			
				2. 委員会もしく	は有識者の意見聴気	とが必要であり、その:	対応が特に評価できる	00			
				3. その他()		
				※上記の対応	事項に1つ以上■がイ	寸けばb'評価以上とす	る。				
		●評価点									
		●評価品					I]		
		Ī						術者の評価に反映。			

(2)設計業務「調查・計画業務」 別紙2(総括技術評価員3/3) h' а a' b С 業務評定 管理技術者 2.5 10 7.5 5 0 選択区分 評価区分 考查項目 細別 a' b h' а С 担当技術者 15 0 12 7.5 4 ●評価対象項目 (選択) (評定) 1. 業務遂行にあたって、有用な提案が行われるなど取組への積極性・責任感に対して特に評価できるものがあった。 2. 業務遂行段階において不明な点が生じた場合など、問合わせや確認が迅速になされ、確認された事項を記録し関係者に共有を図るなど 特に評価できものがあった。 3. 業務遂行中、新たに発生した課題に対して、社内全体として体制の拡充を図るなど、業務を完成させるにあたり特に評価できるものがあった。 4. その他(責任感• 積極性• 取組姿勢 倫理観 ●評価点 (1/1)※業務評定、管理技術者の評価に反映。 ※担当技術者の評価に反映。 ●判定基準 上記該当項目を総合的に判断して、業務評定、管理技術者は10点(a)、7.5点(a')、5点(b)、2.5点(b')、0点(c)で評価する。 担当技術者は15点(a)、12点(a')、7.5点(b)、4点(b')、O点(c)で評価する。 ※総括技術評価員は、主任技術評価員の意見を参考に発注業務全体を視野に入れた総括的な評価を行う。 (業務履行過程での日々の対応の評価は主任技術評価員が実施) ※評価にあたっては、評価対象項目の■の数だけにとらわれず、評価する内容を総合的に判断し評価する。 (例えば、■が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は業務評定、管理技術者は10点(a)、担当技術者は15点(a)評価も可)

(2)設計業務「調査・計画業務」 別紙3(検査員1/4) а a' b h' С 業務評定 考查項目 細別 選択区分 評価区分 管理技術者 10 5 Ω -5 -10●評価対象項目 実施体制及 (選択) (評定) □ 実施体制及 П び執行計画 び執行計画 1. 管理技術者は、照査結果の確認を行っている。 П について. について. 監督員が文 監督員の文 2. 作業計画書が契約締結後速やかに提出されている。 П 書で改善指 書による改 善指示に従 示を行っ わなかっ 3. 作業計画書は、設計図書に定められた必要な事項を記載し業務内容に適した作業計画書が提出されている。 た。 た。 4. 作業計画書における実施方針は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足し指摘や修正がない。 П 5. 作業計画書における実施方針は、本業務の目的や内容に基づき、図式等による工夫が見られ、 かつ、内容がわかりやすく記載されている。 6. 再委託に付した場合、書面により協力者との契約関係が明確であり、協力者に対して適切な指導、 管理を行い、かつ、委託先の成果品に対する照査を行っていることが書面で確認できる。 実施体制 □ 7. 守秘義務について具体的な計画が作業計画書等に記載している。 実施能力 П と執行計 の評価 画(1/1) 8. 個人情報の管理に関する管理体制等が作業計画書等に記載している。 П П □ 9. その他(◎評定は1~9のうち 評価値が90%以上・・・・・・a (1) 「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合に 評価値が70%以上90%未満・・・b 評価値が70%未満・・・・・・c チェックし、評価対象の項目とする。その他は、必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

③ 評価値 (

%)=該当項目数(

)/評価対象項目数(

(2)設計業務「調查・計画業務」 別紙3(検査員2/4) h' а a' h С 業務評定 管理技術者 10 7.5 5 2.5 Ω -5 -10a' b h' а С 細別 選択区分評価区分 担当技術者 考查項目 n 20 15 10 5 -10 -20h' a' h а 照查技術者 12 9 6 3 0 -6 -12 ●評価対象項目 □ 品質管理に (選択) (評定) □ 品質管理に ついて監督 ついて、 監 П П 1. 設計図書の内容を十分点検している。 督員の文書 員が文書で 改善指示を による改善 П П 2. 照査技術者は、照査計画を作成し、照査に関する事項を定め作業計画書に記載している。 指示に従わ 行った。 なかった。 3. 照香技術者は、業務期間をとおして適切に照査を実施しており、発注者が行う照査確認で指摘がなかった。 П 4. 照査技術者は、業務完了に伴って照査結果を照査報告書としてとりまとめ、照査技術者の署名又は捺印の上、 管理技術者に提出している。 5. 品質確保のための会社独自の社内検査体制が確立され、その体制で検査を行ったことが確認できる。 П П 6. 品質管理のためのシステムが構築されており、かつ、成果への反映について確認できる。 (ISO9001等の認証取得と成果への反映が確認される場合) 実施状況 品質管理 7. 調査・計画業務の誤りが無いよう、点検シートが作成され、シートに工夫が見られ内容も適切である。 の評価 (1/1)8.「作業計画書」における「成果物の品質を確保するための計画」に記述された内容が適切であり、かつ、 当該業務の品質の管理に繋がっている。 □ 9. その他()(対象:管理、担当、照查技術者) ◎評定は1~9のうち 評価値が90%以上・・・・・・a (1)「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合に 評価値が80%以上90%未満・・・a' 評価値が70%以上80%未満・・・b チェックし、評価対象の項目とする。その他は、必須項目とする。 評価値が60%以上70%未満···b' 評価値が60%未満・・・・・・・c ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (%)=該当項目数()/評価対象項目数(

(2)設計業務「調査・計画業務」 別紙3(検査員3/4) 業務評定 h' а a' b С 管理技術者 担当技術者 20 15 10 5 0 -10-20選択区分 評価区分 考查項目 細別 a' b b' а С 照查技術者 0 28 21 14 7 -14-28 ●評価対象項目 □ 成果品につ (選択) (評定) □ 成果品につ いて、監督 いて、監督 П 1. 設計図書に定めらえた項目及び指示事項が漏れなく整理されている。 員が文書で 員の文書に 改善指示を よる改善指 2. 活用した技術基準や文献等の出典先が、それぞれの成果に記載され、わかりやすく整理されている。 П 示に従わな 行った。 かった。 3. 調査・計画iの配慮事項、ポイントや品質を高めるための提案が別途、引き継ぎ事項として整理されている。 4. 現地踏査の結果より判明した調査、計画上の対応が、必要な事項についての対策が記載されている。 П 5. 業務遂行段階での指示事項が漏れなく整理されている。 6. 必要書類等が整備されていた。 7. 誤字・脱漏、記載ミスなどがない。 8. 理解しづらい文章表現などがなく、わかりやすい成果となっている。 成果品の 結果の 品質 9. 個々の説明において図や表を活用するなどわかりやすい成果となっている。 П 評価 (1/2)П 10. 全体的な構成や説明の流れが業務の目的と成果への導きとして適切にとりまとめられている。 11. 成果品に引用されている図表、写真等は著作権に配慮されたものとなっている。 12. 成果品のチェック方法に工夫が見られる。 П 13. 成果品は、独自に設定した社内基準を満足し、精度の向上に繋がったものである。 П П П П 14. その他(

(2)設計業務「調査・計画業務」 別紙3(検査員4/4) 業務評定 b' a' b а С d 管理技術者 20 5 0 担当技術者 15 10 -10 -20 選択区分 評価区分 細別 考查項目 b' a' b а С 照査技術者 28 21 7 0 -28 14 -14◎評定は1~14のうち 評価値が90%以上・・・・・・a ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合に 評価値が80%以上90%未満・・・a' 評価値が70%以上80%未満・・・b チェックし、評価対象の項目とする。その他は、必須項目とする。 評価値が60%以上70%未満・・・b' 評価値が60%未満・・・・・・c ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (%)=該当項目数()/評価対象項目数(成果品の 結果の 品質 評価 (2/2)

業務成績採点表

調查•計画業務

		世未務		主任	任技術	析評価	5 員(i)			総	括技術	析評個	5員(ii)				検:	査員(iii)					細目評	宜定点(注3)	
#	香項目	細別	а	a'	b	b'	С	d	е	а	a'	b	b'	С	d	е	а	a'	b	b'	С	d	е	評価。	点(iv)	基礎点	評定点 / 配点	(評定率)
	実施能力の 評価	実施体制と執行計画																								12.0	/ 20.0	
		執行管理																								3.0	/ 5.0	
	実施状況の	品質管理																								12.0	/ 20.0	
プロセ ス評価		業務特性																						iv = i *0.4 +		6.0	/ 10.0	
		創意工夫																						ii *0.2 + iii *0.4		2.4	/ 4.0	
	説明調整能 力の評価	説明調整能力																								3.6	/ 6.0	
	取組姿勢	責任感・積極性・倫理観																								3.0	/ 5.0	
結	果の評価	成果品の品質																								18.0	/ 30.0	
評定者	別評価点①										-																	
評定者	別基礎点②																											
評定者	別評定点(③=	=(1)+(2)							4							5							6					
(注4)		$4 \times 0.4 + 5 \times 0.2 + 6 \times 0.4$																									/ 100	
⑧事故	等による減点(業務遂行段階を対象とする)																										
⑨契約	不適合又は損	害賠償が実施された場合の源	域点(追	皇完の	規模だ	が軽微	である	る場合	を除く	()																		
⑩その	他																											
総合評	定点の算定		総合	評定点	ā(1)=	7+8	+9+	10																				
			(主	任技	術部	平価員	員)			(総	括技	術部	平価。	員)			(検	査員	1)									
		所見																										

管理	技術者(注	1)	担当	i技術者(注	2)	照査技術者			
基礎点	評定点 /	配点	基礎点	評定点 /	配点	基礎点	評定点 /	配点	
12.0	/	20.0	3.0	/	5.0				
3.0	/	5.0	3.0	/	5.0				
12.0	/	20.0	18.0	/	30.0	30.0	/	50.0	
6.0	/	10.0	7.5	/	12.5				
2.4	/	4.0	2.4	/	4.0				
3.6	/	6.0	3.6	/	6.0				
3.0	/	5.0	4.5	/	7.5				
18.0	/	30.0	18.0	/	30.0	30.0	/	50.0	
	/	100		/	100		/	100	

注)1. 測量作業及び地質調査は、管理技術者及び現場作業責任者が該当する。

る。 2. 担当技術者は8人までとし、総合的に評価する。 3. 各評価項目の評定点は、少数第二位を四捨五入して表示している。 4. 「⑦」「⑪」は、少数第一位を四捨五入し整数とする。

(3)設計業務 **別紙1(主任技術評価員1/8)**

□ 1. 業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されている。	(3)設計業	養務									別紙1(主任技行	<u> 桁評価負1/8)</u>	
担当技術者 5 - 2.5 - 0 -2.5 -5 -5	孝 杏佰日	細別	强扣区分	証価区分		а	a'	b	b'	С	d	е	
(選択) (課定)	为且项口	ነነር ጠሳነ				5	_	2.5	_	0	-2.5	-5	
評価値が90%以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		と執行計 画(1/1)	(選択)	(評定)	 特記仕様書 管理技術者 担当技術者 担当技術の事本 業務のの実施 業務の他(等に示された当該業は、契約図書等に基は、設計図書等に基は、優れた技術力やは方針における実施方なすべき優れたものでは、業務内容に	務と関連する他の業務である。 がき、業務の技術上のでき、適正に業務を実 創意工夫をもって、業 法は、本業務の目的である。 応じた適切な人員配置	条、事業が理解されての 管理を適切に行っての 施している。 務の成果に貢献してい を十分理解し、成果を 量であり、業務の停滞や してあり、業務の停滞や	いる。 いる。 いる。 得るための的確な手川 や手戻りを生じさせず 、提出されている。		- び執行計画 について、 監督員が文 書で改善指 示を行っ	び執行計画 について、 監督員の文 書による改 善指示に従 わなかっ	
					評価値が9	90%以上···· 70%以上90%オ	₹ä•••b	チェックし、言	平価対象の項目とする。その 選択項目で選択した項目を	D他は、必須項目とする。 母数として計算した比率(9	%)計算の値で評価する。)

(3)設計業務

別紙1(主任技術評価員2/8)

	: 打力										
考査項目	細別	落中区公	評価区分	業務評定 管理技術者	а	a'	b	b'	С	d	е
万 且坝口	神山力リ			担当技術者	5	-	2.5	-	0	-2.5	-5
実施状況の評価	執行管理 (1/2)	●評価対象(選択)	(評定)	 契約締結後 テクリスへら 監督員の指 打合せにお 打合せ記録 作業務の進 	速やかに業務に着手の登録申請を監督員の 絡を密にとり、円滑な (示事項に迅速に対応 いて、業務の課題とないて、発注者が判断 は、必要事項が簡単の業務工程(表)は、 (表)は、	の確認を受けた上で速業務の実施に努めている。 その解決策の提案が優できる適切な資料の提議に整理されており、	さやかに行っている。 いる。 憂れている。 憂示・提出がなされてに かつ、速やかに提出さ がの、速やかに提出さ			□ 執行管理に 対に 対に 対し 対し 対し が指し を 行った。	□ 執行管理に ついる でで、文文 で で い う う う う う う う う う う う う う う っ う っ っ う っ

(3)設計業務

別紙1(主任技術評価員3/8)

考査項目	細別	選択区分	动体区公	製油区公	部体区公	業務評定 管理技術者	а	a'	b	b'	С	d	е
				担当技術者	5	-	2.5	-	0	-2.5	-5		
中栋华江	執行管理 (2/2)	●評価対: (選□ □ □ □ □ □	(評定)	13. 第三者の 14. 第三者の 15. 屋外作業 16. 屋外作業 17. 設計図書	土地等への立ち入りにま 土地への立ち入りにま において、第三者のま において、事故が発生	は、必要が無くなった場 こあたって、トラブルのき ちたって交付を受けた身 全確保に努めている。 こしないよう作業員等に 引に履行状況報告が提 合は、事前に理由を付	発生がないように適切 分証明書は、立入完 安全教育の徹底を図 出されている。	可な対応を行っている。 日子後10日以内に返達 日り、指導・監督に努め	切されている。				
の評価		□	1~19のう 評価値が9 評価値が7	5 90%以上・・・・・ 70%以上90%ま 70%未満・・・・・	⊧満···b	チェックし、評	目」のうち、(選択)のチェッ	母数として計算した比率(9)		

(3)設計業務 別紙1(主任技術評価員4/8) 業務評定 а a' h h' С 管理技術者 担当技術者 10 7.5 5 2.5 Ω -5 -10選択区分 評価区分 考查項日 細別 a' b h' а С 照查技術者 n 28 21 14 7 -14-28 ●評価対象項目 (選択) □ 品質管理に □ 品質管理に (評定) ついて、 監 ついて、 監 П П 1. 照査計画において、発注者から指摘がなかった。 督員が文書 督員の文書 で改善指示 による改善 П 2. 照査技術者は、業務の各照査段階において自身での照査を行い、発注者が行う照査確認で指摘がなかった。 指示に従わ を行った。 なかった。 3. 基本条件の設定に対し、管理技術者が現地状況等の基本情報を収集して把握しているかの確認を行い、 その内容が適切であるかについて照査が行われている。 4. 埋設物、支障物件、周辺施設との近接等、施工条件が反映されているかの照査が適正に行われている。 5. 設計方針及び設計手法が適切であるかの照査が適正に行われている。 【概略・予備設計の場合 評価対象】 6. 設計計算書、設計図、数量の正確性、概算工事費の適切性及び整合性に着目し照査が適正に行われている。 【詳細設計の場合 評価対象】 □ 6. 設計計画書、設計図、数量の正確性、適切性及び整合性に着目し照査が適正に行われている。 実施状況 品質管理 の評価 (1/2)7. 受取対象物の照査のみならず、仮設工及びコスト縮減、建設副産物対策の妥当性についても 十分な照査が適正に行われている。 8. 現地条件に対応した施工方法を複数提案し、総合的な判断に基づき決定されている。 9. 資料の提出時に、転記・計算ミスが無く内容のチェックを行っている。 10. 業務の実施に当たり、最新の技術基準及び参考図書並びに特記仕様書に基づき実施している。 П 使用にあたって、事前に監督員の承諾を得ている。 П 11. 業務の実施に当たり、設計図書に定める技術基準等について、十分に理化した上で適用している。 12. 設計業務等の実施に当たり、現地踏査を行い設計等に必要な現地の状況を把握している。 13. 現地踏査の実施に際し、貸与資料や設計図書に示す設計事項を照合して、調査対象項目を整理し、 監督員の承諾を得て実施している。

(3)設計業務 別紙1(主任技術評価員5/8) 業務評定 h' а a' h С 管理技術者 担当技術者 10 7.5 5 2.5 Ω -5 -10選択区分 評価区分 考查項日 細別 a' b h' а С 照查技術者 n 28 21 14 7 -14 -28 ●評価対象項目 (選択) (評定) 14. 資料収集の実施に際し、貸与資料や設計図書に示す設計事項と照合して、資料収集対象項目を整理し、 П 監督員の承諾を得て実施している。 П 15. 技術基準等が無い項目の取扱いが具体的に記述されている。 16. 履行段階において、状況に応じた適切な対応を行い、もしくは提案がされている。 17. 構造等について、維持管理が容易となるよう詳細な検討がされている。 18. 構造及び維持管理の検討において、施設の長寿命化となる提案がされている。 П П 19. 過年度からの打合せ経緯や成果を踏まえた成果となっている。 П 20. 当該現場の施工条件や環境特性などを的確に把握している。 実施状況 品質管理 21. 当該現場における施工上の留意点が、重要度や施工段階を考慮し的確に提案されている。 の評価 (2/2)П 22. 仮設計画が施工条件を的確に踏まえて提案されている。 П □ 23. その他()(対象:管理、担当、照香技術者) ◎評定は1~23のうち 評価値が90%以上・・・・・・a (1)「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合に 評価値が80%以上90%未満・・・a' 評価値が70%以上80%未満・・・b チェックし、評価対象の項目とする。その他は、必須項目とする。 評価値が60%以上70%未満・・・b' 評価値が60%未満・・・・・・・c ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (%)=該当項目数()/評価対象項目数(

(3)設計業務 別紙1(主任技術評価員6/8) 業務評定 b' а a' b С 選択区分 評価区分 考查項目 細別 管理技術者 4 担当技術者 3 2 1 0 ●評価対象項目 (選択) (評定) 1. 当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に関する提案がなされている。 2. 検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案されている。 3. 品質管理のための照査体制を構築させ、有効的に機能している。 4. ライフサイクルコストや新技術の活用など総合的かつ有効的なコスト縮減の提案がなされている。 5. 創意工夫、提案力等に係る特筆すべき事項がある。 具体記述(●評価点 実施状況 ※業務評定、管理技術者、担当技術者の評価に反映。 創意工夫 の評価 ●判定基準 上記の項目の■の数により、1点から4点の加算評価とする。 ※ただし、特段の評価ができる場合は、評価対象項目の■の数だけにとらわれず、評価する内容を総合的に判断し評価する。 (例えば、■が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は業務評定、管理技術者、担当技術者は4点(a)加算評価も可)

(3)設計業務

別紙1(主任技術評価員7/8)

老本佰日	細見山	海扣区分	1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	業務評定 等理技術者	а	a'	b	b'	С	d	е
行且识口	小山刀リ			担当技術者	6	-	3	-	0	-3	-6
考査項目説の問題の問題を表す。	細別 明能 (1/1)	●評価対策(選択)	(評定) ロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロ	管担 1. 2. 3. 1 2. 3 4. 3 4. 3 4 5 . 6 9 3 2 9 3 4 9 3 9 3 9 3 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	6 「る質問や提案等が適 「事前に十分整理され ・及び資料の説明にお いを実施するための関 でう関係官公庁等への で等及び地元関係者と による受注者が行	一を切に行われた。 でおり、打合せも円滑にいて、論理的で容易に係官公庁等への手続き 手続きに際して、分からの手続きや交渉状況が での手続きや交渉状況が	3 に行われた。 理解できる説明が行きを速やかに行ってい りやすく、説明しやすい が遅延なく報告されて)説明、交渉等におい	われた。 いる。 い資料等の作成が行ないる。 で、誠意をもって適切の)(対象:管理、	われている。 な対応が 担当技術者)	_	-6 -6 説明調整に について、
			評価値が	90%以上····· 70%以上90%未 70%未満·····	未満···b		[目」のうち、(選択)のチェッ 『価対象の項目とする。その	ック欄があるものは、選択項 の他は、必須項目とする。	見目として該当する場合に		
			叶岬厄沙,	O /O/K/IMJ				母数として計算した比率(9	%)計算の値で評価する。		
						③ 評価値(%)=該当	項目数()/評価対象項目数()

(3)設計業務 別紙1(主任技術評価員8/8) 業務評定 h' а a' h С 管理技術者 担当技術者 10 7.5 5 2.5 Ω -5 -10選択区分 評価区分 考查項日 細別 a' b h' а С 照查技術者 12 9 n 6 3 -6 -12●評価対象項目 (選択) (評定) □ 成果品につ □ 成果品につ いて、監督 いて、監督 П 1. 設計業務成果概要書は、業務全般の内容とそのポイントが的確に解説しとりまとめられている。 旨が文書で 員の文書に 改善指示を よる改善指 2. 設計計算書は、設計条件、出典根拠、計算プログラム、モデル図、アウトプットデータがわかりやすく 示に従わな 行った。 整理されている。 かった。 3. 設計図書は、特記仕様書に基づき、適切な縮尺、配置により必要事項が漏れなく記載されている。 4. 数量計算書は、計算方法や計算手順が明確である。 5. 概算工事費は、適用する積算基準書に基づき構成され、採用する単価が妥当である。 П 6. 施工計画書は、工事実施に当たって必要な事項の基本的内容が記述されている。 П 7. 現地踏査の結果が、写真や図面により的確に整理されている。 8. 数量計算書は、「土木設計数量算出要領」に基づき、工事別、区間別に取りまとめられている。 成果品の П П 結果の 品質 評価 9. 設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を漏れなく取りまとめられている。 (1/1)П 10. その他(◎評定は1~10のうち 評価値が90%以上・・・・・・a (1)「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合に 評価値が80%以上90%未満···a 評価値が70%以上80%未満・・・b チェックし、評価対象の項目とする。その他は、必須項目とする。 評価値が60%以上70%未満・・・b 評価値が60%未満・・・・・・c ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (%)=該当項目数()/評価対象項目数(

考查項目 細別 選択区分 評価区分 業務評定	彻									<u></u>	
●評価対象項目 (選択) (評定) □ 1. 管理技術者は、優れた技術力をもって、業務の技術上の管理を適切に行っている。 □ 2. 管理技術者は、関連のある業務等の受注者と積極かつ主導的に協議を行い相互に協力し業務を行っている。 □ 3. 作業計画書における実施方針は、優れた手法、技術若しくは創意工夫によるものである。 □ 4. 業務の効率化に関する具体的な提案がされている。 □ 5. 業務の実施体制において、支店・本店などの支援体制が整備されている。 □ 6. その他(公 四 兄儿	湿 中 区 〇	郭布文公		а	a'	b	b'	С	d	е
(選択) (評定) 日 1. 管理技術者は、優れた技術力をもって、業務の技術上の管理を適切に行っている。 日 2. 管理技術者は、関連のある業務等の受注者と積極かつ主導的に協議を行い相互に協力し業務を行っている。 日 3. 作業計画書における実施方針は、優れた手法、技術若しくは創意工夫によるものである。 日 4. 業務の効率化に関する具体的な提案がされている。 日 5. 業務の実施体制において、支店・本店などの支援体制が整備されている。 日 6. その他(管理技術者	10	7.5	5	2.5	0	-5	-10
※業務評定、管理技術者の評価に反映。 ●判定基準 上記該当項目を総合的に判断して、10点(a)、7.5点(a')、5点(b)、2.5点(b')、0点(c)、-5点(d)、-10点(e)で評価する。 ※総括技術評価員は、主任技術評価員の意見を参考に発注業務全体を視野に入れた総括的な評価を行う。	実施体制 と執行計 画 (1/1)	●評価対策 (選択) ●評価点	文	 管理技術者 1. 管管理理理理理理理理理理理理理理 業務の 実 5. そのの性技 合は、管理を価値を価値をである。 6. そののは おおいまでは、 ででは、 ででは、 では、 <li< th=""><th>は、優れた技術力をは、関連のある業務における実施方針は 化に関する具体的な 体制において、支店 の評価に反映。</th><th>もって、業務の技術上の 等の受注者と積極かっ 、優れた手法、技術若 提案がされている。 ・本店などの支援体制 7.5点(a')、5点(b)、2 を参考に発注業務全</th><th>の管理を適切に行って の主導的に協議を行い しくは創意工夫による が整備されている。</th><th>にいる。 相互に協力し業務を行 ものである。) 一5点(d)、一10点(e</th><th>行っている。</th><th>-5</th><th>-10</th></li<>	は、優れた技術力をは、関連のある業務における実施方針は 化に関する具体的な 体制において、支店 の評価に反映。	もって、業務の技術上の 等の受注者と積極かっ 、優れた手法、技術若 提案がされている。 ・本店などの支援体制 7.5点(a')、5点(b)、2 を参考に発注業務全	の管理を適切に行って の主導的に協議を行い しくは創意工夫による が整備されている。	にいる。 相互に協力し業務を行 ものである。) 一5点(d)、一10点(e	行っている。	-5	-10
	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	細別 (主執行計) (1/1)	無別 選択区分 ●評価対 (選択) ●評価点 ●判定基	細別 選択区分 評価区分 ●評価対 ・	無別 選択区分 評価区分 業務評定 管理技術者 ●評価対象項目 (選択) (理技術者 2. 管理技術者 3. 作業計画 4. 業務の対率 5. 業務の実施 6. その他(※業務評定、管理技術者 1. 管理技術者 4. 業務の実施 5. 業務の実施 6. その他(※業務評定、管理技術者 ※業務評定、管理技術者 (業務履行過程でのは、証が1つでは、運業務報行上の過失とし、業務執行上の過失とし、※素務執行上の過失とし	細別 選択区分 評価区分 業務評定 管理技術者 10 ●評価対象項目 (選択) (評定)	無別 選択区分 評価区分 業務評定 管理技術者 10 7.5 10 7.5 10 10 7.5 10 10 7.5 10 7.5 10 10 7.5 10 10 7.5 10 10 7.5 10 10 7.5 10 10 7.5 10 10 7.5 10 10 7.5 10 10 7.5 10 10 10 7.5 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	細別 選択区分 評価区分 業務評定 管理技術者 10 7.5 5 ●評価対象項目 (選択) (評定) 1. 管理技術者は、優れた技術力をもって、業務の技術上の管理を適切に行って 2. 管理技術者は、関連のある業務等の受注者と積極かつ主導的に協議を行い 3. 作業計画書における実施方針は、優れた手法、技術若しくは創意工夫による 4. 業務の効率化に関する具体的な提案がされている。 5. 業務の実施体制において、支店・本店などの支援体制が整備されている。 5. 業務の実施体制において、支店・本店などの支援体制が整備されている。 6. その他(単純 上記該当項目を総合的に判断して、10点(a)、7. 5点(a')、5点(b)、2. 5点(b')、0点(c)、※総括技術評価員は、主任技術評価員の意見を参考に発注業務全体を視野に入れた総対 (業務履行過程での日々の対応の評価は主任技術評価員が実施) ※評価にあたっては、評価対象項目の■の数だけにとらわれず、評価する内容を総合的に (例えば、■が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は10点(a)評価も同) (例えば、■が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は10点(a)評価も同) ※業務執行上の過失として主任技術評価員細別評価項目において一ち点(d)または一10) ※業務執行上の過失として主任技術評価員細別評価項目において一ち点(d)または一10) ※業務執行上の過失として主任技術評価員細別評価項目において一ち点(d)または一10)	 選択区分 評価区分 業務評定	選択区分 評価区分 業務評定	 選択区分 評価区分 評価区分 整理技術者 a a a a b b b c c d e 要技術者 10 7.5 5 2.5 0 -5 ●評価対象項目 (選択) (評定) 1. 管理技術者は、優れた技術力をもって、業務の技術上の管理を適切に行っている。

(3)設計業務 別紙2(総括技術評価員2/3) a' h' а b С 業務評定 管理技術者 20 15 10 7.5 0 選択区分 評価区分 考查項目 細別 a' b b' а С 担当技術者 0 25 19 12.5 7 ●評価対象項目 (選択) (評定) I設計条件への対応 1. 現場条件や環境条件などの制約条件が多く、その対応が特に評価できる。 2. 設計条件の設定において、高度な技術を要し、その対応が特に評価できる。 3. 設計条件の設定に当たり、地元、関係機関の意見聴衆が必要であり、その対応が特に評価できる。 4. 関連する事業、工事に配慮する必要があり、その対応が特に評価できる。 5. 地元関係者への説明、交渉等の資料等に工夫がみられ、特に評価できる。 □ 6. その他(Ⅱ高度な技術力への対応 実施状況 業務特性 の評価 (1/1)1. 設計成果の導きにおいて、多岐にわたる比較検討が必要であり、その対応が特に評価できる。 2. 委員会もしくは有識者の意見聴衆が必要であり、その対応が特に評価できる。 3. その他(※上記の対応事項に1つ以上■が付けばb'評価以上とする。 ●評価点 ※業務評定、管理技術者の評価に反映。 ※担当技術者の評価に反映。

(3)設計業務 別紙2(総括技術評価員3/3) h' а a' b С 業務評定 管理技術者 2.5 10 7.5 5 0 選択区分 評価区分 考查項目 細別 a' b h' а С 担当技術者 15 0 12 7.5 4 ●評価対象項目 (選択) (評定) 1. 業務遂行にあたって、有用な提案が行われるなど取組への積極性・責任感に対して特に評価できるものがあった。 2. 業務遂行段階において不明な点が生じた場合など、問合わせや確認が迅速になされ、確認された事項を記録し関係者に共有を図るなど 特に評価できものがあった。 3. 業務遂行中、新たに発生した課題に対して、社内全体として体制の拡充を図るなど、業務を完成させるにあたり特に評価できるものがあった。 4. その他(П 責任感• 積極性• 取組姿勢 倫理観 ●評価点 (1/1)※業務評定、管理技術者の評価に反映。 ※担当技術者の評価に反映。 ●判定基準 上記該当項目を総合的に判断して、業務評定、管理技術者は10点(a)、7.5点(a')、5点(b)、2.5点(b')、0点(c)で評価する。 担当技術者は15点(a)、12点(a')、7.5点(b)、4点(b')、O点(c)で評価する。 ※総括技術評価員は、主任技術評価員の意見を参考に発注業務全体を視野に入れた総括的な評価を行う。 (業務履行過程での日々の対応の評価は主任技術評価員が実施) ※評価にあたっては、評価対象項目のレ点の数だけにとらわれず、評価する内容を総合的に判断し評価する。 (例えば、レ点が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は業務評定、管理技術者は10点(a)、担当技術者は15点(a)評価も可)

(3)設計業務 **別紙3(検査員1/5)**

考査項目	細別	選択区分	郭儒区公	業務評定	а	a'	b	b'	С	d	е
万 且垻日	和山力リ			管理技術者	10	-	5	-	0	-5	-10
実施能力の評価	実施体制 画(1/1)	●評価対: □ □ □ □ 定は:	(2. 作業計画書書 3. 作業計計画画書書 4. 作業計計内 (作業) (計算) (計算) (計算) (計算) (計算) (計算) (計算) (計算	は、照査結果の確認 が契約締結後速やか は、設計図書に定め における実施方針は がわかりやすく記載が した場合、書面に成成 した場、委託先の成計 でいて具体的な計画 でで理に関する管理体 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	いに提出されている。 られた必要な事項を記 、特記仕様書等の設言 、本業務の目的や内容 れている。 協力者との契約関係行 が作業計画書等に記 制等が作業計画書等 ①「評価対象項 チェックし、評価 ② 必須項目と選	記載し業務内容に適した項目を満足しなに基づき、図式等にが明確であり、協力ではしている。 は記載している。 に記載している。 に記載している。	指摘や修正がない。 よる工夫が見られ、 に対して適切な指導、 確認できる。))))))))) () () ()	されている。 質目として該当する場合に (6)計算の値で評価する。	□ 実施体制を 実施体制を に監督でを を書示を た。	□ 実施体制及 び執行計画 について、 監督員の文
						③ 評価値(%)=該当	жµж\)/評価対象項目数(

(3)設計業務 別紙3(検査員2/5)

<u>(3)設計業</u>	: 作为									力リ和氏さ	<u>(</u> 使全員2/5)
				業務評定	а	a'	b	b'	С	d	е
				管理技術者	10	7.5	5	2.5	0	-5	-10
考査項目	細別	海扣区分	1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	担当技術者	а	a'	b	b'	С	d	е
为且供口	小山八川	医水色刀	正顺色刀	担当汉附省	20	15	10	5	0	-10	-20
				照査技術者	а	a'	b	b'	С	d	е
				所及(五)然	12	9	6	3	0	-6	-12
		●評価対策 (選択)	(評定) □		内容を十分点検しては、照査計画を作成		を定め作業計画書 に	記載している。		□ 品質管理に ついて監督 員が文書で 改善指示を 行った。	□ 品質管理に ついて、監 督員の文書 による改善 指示に従わ
							しており、発注者が行		こかった。	11 5/20	なかった。
					に提出している。	く照宜桁米を照宜報品	告書としてとりまとめ、§	炽宜技術有の者名文(よ捺印の上、		
				5. 品質確保 <i>の</i>	ための会社独自の社	比内検査体制が確立さ	れ、その体制で検査を	そ行ったことが確認でき	きる 。		
						築されており、かつ、原 とへの反映が確認され	成果への反映について る場合)	征認できる。			
実施状況 の評価	品質管理 (1/2)				計の場合 評価対象) が無いよう、設計点検		ートに工夫が見られば	7容も適切である。			
					場合 評価対象】 の手引き」に基づく照	査を行い、かつ設計点	i 検シート等の工夫が§	見られ内容が適切であ	აგ.		
				8. 現場発生材	の発生抑制や利活用	月について検討され、原	成果に反映されている	0			
				9. 最適な施工	計画の立案等により	、コスト縮減が可能とな	なる成果が得られてい	る。			
					Ī書」における「成果品 核業務の品質の管理!		めの計画」に記述され	た内容が適切であり、			
				11. 最適な施	エ計画の立案、新技行	析、新工法の採用等に	より工期短縮が可能。	となる成果が得られて	いる。		
				12. その他()(対象:管理、担当	4、照査技術者)		
		I								l .	

(3)設計業務 別紙3(検査員3/5) b' a' b а С d 業務評定 管理技術者 5 0 10 7.5 2.5 -5 -10 b' a' b а С 選択区分評価区分担当技術者 細別 考査項目 20 15 5 0 10 -10-20a' b b' а 照査技術者 9 6 0 12 3 -6 -12 ◎評定は1~12のうち 評価値が90%以上・・・・・・a (1)「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合に 評価値が80%以上90%未満・・・a' 評価値が70%以上80%未満・・・b チェックし、評価対象の項目とする。その他は、必須項目とする。 評価値が60%以上70%未満・・・b' 評価値が60%未満・・・・・・・c ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数(実施状況 品質管理 の評価 (2/2)

(3)設計業務 別紙3(検査員4/5)

表表項目 細別 選択区分 評価区分 評価区分 評価区分 20	
接換性 接收性 接收	е
Mg	-20
28 21 14 7 0 -14	е
(選択)	-28
□ □ 11. 生産性向上(コスト縮減)について、有益な提案がされている。 □ 12. 有用な新技術・新工法の検討がされ、施工品質向上を図る提案がされている。 □ □ 13. その他()	Market

(3)設計業務 別紙3(**検査員**5/5)

(3)設計業	終								別紙3	(検査員5/5)
			業務評定 管理技術者	а	a'	b	b'	С	d	е
考査項目	細別	選択区分評価区	担当技術者	20	15	10	5	0	-10	-20
与 宜坝日	和口力リ	医抗区方 計画区	照査技術者	а	a'	b	b'	С	d	е
			照直投刊有	28	21	14	7	0	-14	-28
結果の評価	成果品の 品質 (2/2)	評価値 評価値 評価値	が90%以上・・・・・ が90%以上90% が80%以上80% が70%以上70% が60%以上70% が60%未満・・・・・	未満・・・aʾ 未満・・・b 未満・・・bʾ	チェックし、評	価対象の項目とする。そ <i>0</i>)他は、必須項目とする。 母数として計算した比率(項目として該当する場合に%)計算の値で評価する。		

業務成績採点表

(技術者評定)(注2)

75 17

	設計業	177																			-							_						
=	考査項目	細別	Ė	E任技	術評	価員(i)		<u> </u>	総打	舌技術	評価。	員(ii)				検	查員	(iii)					細目評	平定点(注:	2)			管理技術者	担当	当技術者(注1)	Я	照查技術者
1	7. 且 识 口	ניכ/ נוסיף	a a'	b	b'	С	d	е	а	a'	b	b'	c d	е	а	a'	b	b'	С	d	е	評価	点(iv)	基礎点	評定点	/ 配点	(評定率)	基礎点	評定点 / 配	点 基礎点	評定点 /	配点	基礎点	評定点 / 配
	実施能力の 評価	実施体制と執行計画						Щ	口	二														12.0	,	/ 20.0		12.0	/ 20.	0 3.0	/	5.0		
		執行管理						Щ																3.0	,	/ 5.0		3.0	/ 5.0	3.0	/	5.0		
	実施状況の	品質管理						Ц																12.0		/ 20.0		12.0	/ 20.	0 18.0	/	30.0	30.0	/ 50
プロセ ス評価	評価	業務特性							H	耳												iv = i *0.4 +		6.0	,	/ 10.0		6.0	/ 10.	0 7.5	/	12.5		
		創意工夫		I																		ii *0.2 + iii *0.4		2.4	,	/ 4.0		2.4	/ 4.0	2.4	/	4.0		
	説明調整能 力の評価	説明調整能力						Щ	}															3.6	,	/ 6.0		3.6	/ 6.0	3.6	/	6.0		
	取組姿勢	責任感·積極性·倫理観																						3.0	,	/ 5.0		3.0	/ 5.0	4.5	/	7.5		
約	き果の評価	成果品の品質							}															18.0	,	/ 30.0		18.0	/ 30.	0 18.0	/	30.0	30.0	/ 50
評定者	·別評価点①													•																				
評定者	別基礎点②														1																			
評定者	別評定点(③=	=(1)+(2)						4	<u>L</u>					⑤							6													
(注3)		(4) × 0.4+(5) × 0.2+(6) × 0.4)						•							•										/	100			/ 10	00	/	100		/ 1
⑧事故	(等による減点)	(業務遂行段階を対象とする)																																
9契約]不適合又は損	害賠償が実施された場合の減	点(追完)	の規模	が軽微	数である	る場合	を除く)																									
⑩その	他																																	
総合評	定点の算定		総合評定	(点①=	=(7)+(8	3)+(9)+(10																											
	(主任技術評価員) (総括技術評価員) (検査員)														2.	担当技術者は8月 各評価項目の評 「⑦」「⑪」は、少数	定点は、少	数第二位を四	9捨五	入して表	示している。													

りに評価する。 二位を四捨五入して表示している。 ī入し整数とする。

考査基準

1. 評価員ごとの考査基準

(1) 主任技術評価員及び検査員

主任技術評価員及び検査員は、評定に際し、当該調査等の履行状況に応じ、各評価項目の評定を評価者毎に別紙1又は別紙3により行うものとする。

なお、評価項目の追加、削除、もしくは評価比重の変更は行ってはならないものとする。

(2) 総括技術評価員

総括技術評価員は、評定に際し、評定趣旨を十分に理解し尊重した上で、当該調査等の履行 状況に応じ、各評価項目の評定を別紙2により総合的に行うものとする。

2. 総括技術評価員が行う事故等による減点等の取扱い

(1) 事故等による減点

当該調査等履行中に受注者に起因する事故等が発生し競争参加資格停止等の措置を行った場合には、当該調査等の総合評定点に対して別表-1のとおり減点措置を行うものとする。

なお、減点を行うときは、その事象に応じて別紙4の®により行うものとする。(ただし、複数ある場合は、それぞれの事象に応じて減点を行うものとする。)

《別表 — 1	受注者に起因する事故等が発生した場合の減点基準》	
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	文江石に四四10年以サル元工した物口の拠示坐十/	

区分	口頭注意	文書警告	資格停止 1ヶ月迄	資格停止 1ヶ月以上
考査点 (減点)	- 3点	- 5点	-10点	-15点

【適用例】

- ・入札前に提出した当該調査等の参加表明書又は技術提案書等に虚偽事実が判明した場合
- ・発注者に承諾無しに当該調査等に関する権利義務、成果物を第三者に譲渡又は承継、公開 した場合
- ・産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に 違反する事実が判明した場合
- ・一括再委託、請負を行った事実が判明した場合
- ・打合せ協議又は検査の実施にあたり、監督員や検査員等の職務執行を妨げた場合
- ・当該調査等において過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された場合
- ・当該調査等において安全管理の措置が不適切であったために、死傷者が生じさせた関係者 事故、又は重大な損害を与えた公衆災害を発生させた場合

(2) 契約不適合及び損害賠償による減点

引き渡された成果品が種類又は品質に関して契約の内容に適合しないもの(契約不適合)であり、契約書の規定に基づき成果品の修補又は代替物の引渡しによる履行の追完を請求した場合、もしくは、受注者の責に帰す事由により、受注者に対して損害賠償を請求した場合には、当該調査等の総合評価点に対して、別表-2のとおり減点措置を行うものとする。

ただし、契約不適合による追完の規模が軽微である場合は、この限りではない。

また、要領第8条に基づき評定の結果を通知後に当該事象が発生した場合は、要領第9条に 定める評定の修正を行うものとする。 なお、減点を行うときは、その事象に応じて別紙4の⑨により行うものとする。

《別表-2:契約不適合又は損害賠償が実施された場合の減点基準》

 		T 17
区分	契約不適合又は損害賠償の実施	故意又は重大な過失により
		契約不適合又は損害賠償の実施
考査点	- 1 0 点	— 2.0 占
(減点)	— 1 0 点	一20点

(3) 低入札価格調査における虚偽説明等による減点

「調査等における低入札価格調査について(要領)」(令和3年3月30日東高総調第469号、東高技管第69号)3-2の規定により、低入札価格調査資料に虚偽の事実があったことが判明した場合は、当該調査等の総合評定点に対して、別表-3のとおり減点措置を行うものとする。なお、減点を行うときは、別紙4の⑩により行うものとする。

《別表-3:低入札価格調査資料の虚偽説明等が明らかとなった場合の減点基準》

1332	O . 127 (10 IM 14 I/1) 1	
	区分	調査対象者の故意又は重大な過
		失による虚偽説明等の場合
	考査点 (減点)	-10点

3. 採点表等の取扱い

(1) 採点表及び集計表の区分

採点表及び集計表は「地質調査、単純調査業務、測量業務」、「調査・計画業務」・「設計業務」 の3種類あるが、その区分は、別表-4を参考として扱うものとする。

《別表-4:採点表及び集計表の区分》

地質調査、単純調査業務、	調査・計画業務	設計業務
測量業務		
測量業務	地質・土質調査のうち	道路設計
	プロポーザルによる契約	
地質・土質調査のうち	環境調査のうち	橋梁設計
プロポーザル以外による契約	プロポーザルによる契約	
環境調査のうち	交通量推計	トンネル設計
プロポーザル以外による契約		
交通量調査	権利調査	標識設計
図面・調書作成	土地評価業務	建築設計
記録・資料作成	物件等調査	電気設備設計
品質調査	事業損失関係調査	通信設備設計
関連公共事業・施設調査	補償関連業務	機械設備設計
	電算業務	造園設計
	気象関係調査	
	経済調査	

(2) 対象業務が複数の業務にまたがる場合の取扱い

対象業務が、別表-4のうちの複数の業務にまたがる場合においては、業務の目的、金額が勘案し、原則として主たる業務の採点表を適用するものとする。